

# 健診現場のDXを推進

\*DXとはデジタル技術を用いて人々の生活をよりよいものに変革することを意味します

## 〔 健診現場の効率化でスマートな健診を実現 〕

### 結果登録作業を大幅削減

タブレットと測定機器を連携し検査データをリアルタイムで保存。受診票や健診システムへの手入力の際のヒューマンエラーを防ぎます。

### 進捗状況をリアルタイムで確認

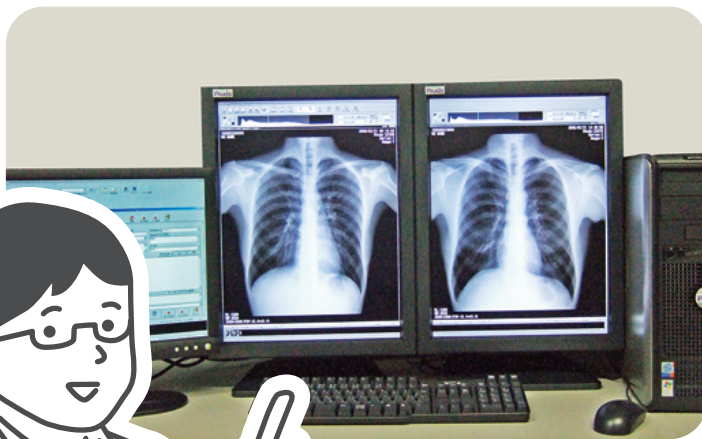
進捗状況をリアルタイムで把握することで受診者・未受診者リストをすぐに確認が可能。健診期間内に受診勧奨が行えます。

### 個人情報クラウドで保存

個人情報はクラウド上で管理。端末にデータを残さない仕組みを構築し情報漏洩のリスクを削減。



## 〔 デジタル化により X 線画像読影の精度向上 〕



### 経年データを確認し比較読影が可能

2021年度、検診車の完全デジタル化が完了しました。それにより撮影後すぐにモニター上で画像の確認が可能です。さらにバス健診の画像をPACS(医療用画像管理システム)で経年管理が可能になりました。読影医による判定の際には画像の経年変化や問診情報を確認しながら結果を入力することで読影の精度向上につなげています。

